

指標評価シート

第1分科会

(基本目標1 元気で魅力あるまち)

政策(1)	地域資源を活かした特色あるまちづくり
-------	--------------------

【基本計画の目標指標】

指 標		
能代市を好きな市民の割合(市民意識調査)		
基準値	目標値(R9)	
—	50.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
後期基本計画からの新指標であるが、目標値に対して市民意識調査の結果は順調に推移している。能代を好きと思う要因は、自然や文化等の地域資源のほか、子育て支援などの各種施策、公共交通や買い物環境等、様々考えられる。引き続き住民ニーズの把握に努め、各種取り組みを推進していく。		順調 (^~^)

指 標		
このまちが住みやすいと思う市民の割合(市民意識調査)		
基準値	目標値(R9)	
53.9% (R3年度)	60.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
昨年度比で微増しているものの全体的にはほぼ横ばいで推移している。「どちらともいえない」という回答もかなり多く(R6調査:225件、28.7%)、他地域と比べ住みやすさを感じられる実感を得るところまでいっていないと考えられる。能代市を好きな市民の割合と同様に、住みやすいと思う要因は、自然や文化等の地域資源のほか子育て支援などの各種施策、公共交通や買い物環境等、様々考えられる。引き続き住民ニーズの把握に努め、各種取り組みを推進していく。		不調 (>_<)

指 標		
市への相談を経て移住した世帯数		
基準値	目標値(R9)	
23世帯 (R2年度)	55世帯	
推移の分析・考えられる要因		評価
首都圏での移住相談会への積極的な参加と移住支援のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中でもSNS等を活用した移住相談や情報発信をしたことにより、増えたものと考えられる。		順調 (^~^)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)

(基本目標1 元気で魅力あるまち)

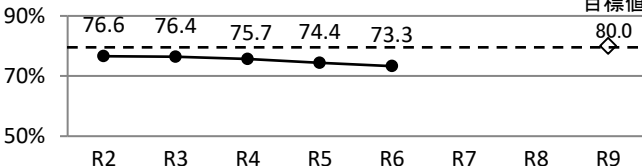
政策(2)	みんなが参加し活躍する地域づくり
-------	------------------

【基本計画の目標指標】

指 標		(R1) - (R2) - (R3) - (R4) - (R5) - 120団体 90団体 60団体 90 95 95 98 102 目標値 100 R2 R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9
市民活動支援センター登録団体数		
基準値	目標値 (R9)	
95団体 (R3年度)	100団体	
推移の分析・考えられる要因		
市民活動支援センターに関する周知に努めたほか、市民活動支援センター登録団体の活動内容の周知や資材貸出し等が充実し、登録団体からの口コミにより増加したものと考えられる。		
評価		
順調 (^-^)		

指 標		<table><thead><tr><th>年度</th><th>登録者数</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td>2,887</td></tr><tr><td>R3</td><td>2,945</td></tr><tr><td>R4</td><td>3,168</td></tr><tr><td>R5</td><td>3,189</td></tr><tr><td>目標値 (R9)</td><td>3,300</td></tr></tbody></table>	年度	登録者数	R2	2,887	R3	2,945	R4	3,168	R5	3,189	目標値 (R9)	3,300
年度	登録者数													
R2	2,887													
R3	2,945													
R4	3,168													
R5	3,189													
目標値 (R9)	3,300													
ボランティアセンター登録者数														
基準値	目標値 (R9)													
2,945人 (R3年度)	3,300人													

推移の分析・考えられる要因	評価
コロナの終息・災害によるボランティアにより、R5の登録者が増加したものと考えられる。	横ばい (-_-)

指 標		
自治会・町内会加入率		
基準値	目標値 (R9)	
76.4% (R3年度)	80.0%	
推移の分析・考えられる要因		評価
チラシ配布等により自治会・町内会への加入呼び掛けを行っているが、賃貸入居者等の加入は難しく、減少傾向にある。		不調 (>_<)

指 標		 <table><thead><tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td>31.0</td></tr><tr><td>R3</td><td>29.2</td></tr><tr><td>R4</td><td>26.3</td></tr><tr><td>R5</td><td>27.0</td></tr><tr><td>R6</td><td>24.4</td></tr></tbody></table> 目標値 50.0	年度	割合 (%)	R2	31.0	R3	29.2	R4	26.3	R5	27.0	R6	24.4
年度	割合 (%)													
R2	31.0													
R3	29.2													
R4	26.3													
R5	27.0													
R6	24.4													
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合（市民意識調査）														
基準値	目標値（R9）													
29.2% （R3年度）	50.0%													
推移の分析・考えられる要因														
自治会・町内会の役員等、活発に市民活動を行っている人材の固定化・高齢化により減少傾向にあると考えられる。														
評価 (>_<)														

指 標		<table><thead><tr><th>年度</th><th>女性就業率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td>59.8</td></tr><tr><td>R3</td><td>59.8</td></tr><tr><td>R4</td><td>62.0</td></tr><tr><td>R5</td><td>62.4</td></tr><tr><td>R6</td><td>59.6</td></tr><tr><td>目標値 (R9)</td><td>65.0</td></tr></tbody></table>	年度	女性就業率 (%)	R2	59.8	R3	59.8	R4	62.0	R5	62.4	R6	59.6	目標値 (R9)	65.0
年度	女性就業率 (%)															
R2	59.8															
R3	59.8															
R4	62.0															
R5	62.4															
R6	59.6															
目標値 (R9)	65.0															
女性就業率（市民意識調査）																
基準値	目標値（R9）															
62.0% （R4年度）	65.0%															

推移の分析・考えられる要因		評価
労働に関する法や制度の整備・充実が進められているものの、高齢化等の理由により就業者数が減ったと考えられる。		不調 (>_<)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	（評価の理由と今後の方向、取り組み）

(基本目標 4 安心して暮らしやすいまち)

政策 (1)	安全な暮らしを守る防災・防犯体制
--------	------------------

【基本計画の目標指標】

指 標	図 表														
災害などもしもの場合に普段から備えることを心がけている市民の割合 (市民意識調査)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>42.0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>47.7</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>40.6</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>48.4</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>47.8</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R9)</td> <td>55.0</td> </tr> </tbody> </table>	年次	値	R2	42.0	R3	47.7	R4	40.6	R5	48.4	R6	47.8	目標値 (R9)	55.0
年次	値														
R2	42.0														
R3	47.7														
R4	40.6														
R5	48.4														
R6	47.8														
目標値 (R9)	55.0														
基準値	目標値 (R9)														
47.7% (R3年度)	55.0%														
推移の分析・考えられる要因															
近年、全国的に大規模災害が多発しており、市民の防災意識に影響を与えていると考えられるため、今後も出前講座や訓練などの機会に情報提供を行い、防災意識の向上につなげていきたい。															
評価															
横ばい (--)															

指 標	図 表														
消防団員の定員の充足率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>77.6</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>76.8</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>76.8</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>84.4</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>80.5</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R9)</td> <td>91.0</td> </tr> </tbody> </table>	年次	値	R2	77.6	R3	76.8	R4	76.8	R5	84.4	R6	80.5	目標値 (R9)	91.0
年次	値														
R2	77.6														
R3	76.8														
R4	76.8														
R5	84.4														
R6	80.5														
目標値 (R9)	91.0														
基準値	目標値 (R9)														
76.8% (R3年度)	91.0%														
推移の分析・考えられる要因															
再編を実施したことにより一時的には充足率は増加したが、人口減少や高齢化などの社会情勢の変化に伴い新規団員の加入が見込めないことや毎年一定数の定年退職者がいるために、減少傾向となっていると考えられる。															
評価															
不調 (>_<)															

指 標	図 表														
自主防災組織数 ※組織=自治会・町内会数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R9)</td> <td>218</td> </tr> </tbody> </table>	年次	値	R2	183	R3	193	R4	200	R5	201	R6	204	目標値 (R9)	218
年次	値														
R2	183														
R3	193														
R4	200														
R5	201														
R6	204														
目標値 (R9)	218														
基準値	目標値 (R9)														
200組織 (R3年度)	218組織														
推移の分析・考えられる要因															
増加傾向ではあるが、当初のような急増ではない。近年、全国的に大規模災害が多発しており、自主防災組織の設立に影響を与えていると考えられる。															
評価															
横ばい (--)															

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)
--------------	--------------------

(基本目標 4 安心して暮らしやすいまち)

政策 (5)	調和のとれた有効な土地利用
--------	---------------

【基本計画の目標指標】

指 標		<table><thead><tr><th>年度</th><th>空き店舗率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td>22.8</td></tr><tr><td>R3</td><td>23.2</td></tr><tr><td>R4</td><td>24.8</td></tr><tr><td>R5</td><td>25.3</td></tr><tr><td>R6</td><td>26.9</td></tr><tr><td>R7</td><td></td></tr><tr><td>R8</td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td></td></tr></tbody></table>	年度	空き店舗率 (%)	R2	22.8	R3	23.2	R4	24.8	R5	25.3	R6	26.9	R7		R8		R9	
年度	空き店舗率 (%)																			
R2	22.8																			
R3	23.2																			
R4	24.8																			
R5	25.3																			
R6	26.9																			
R7																				
R8																				
R9																				
中心市街地活性化重点区域の空き店舗率																				
基準値	目標値 (R9)																			
23.2% (R3年度)	23.0%																			

推移の分析・考えられる要因	評価
後継者不在のほか、建物の老朽化や賃貸の手續自体に難色を示すオーナーの存在により、店舗としての利活用が進まないほか、利用条件や家賃などで貸す側と借りる側のニーズがマッチしないことなどが要因として考えられる。	不調 (>_<)

指 標		<table><thead><tr><th>年度</th><th>通行量</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td>3,520</td></tr><tr><td>R3</td><td>2,495</td></tr><tr><td>R4</td><td>2,600</td></tr><tr><td>R5</td><td>2,748</td></tr><tr><td>R6</td><td>2,069</td></tr><tr><td>R7</td><td></td></tr><tr><td>R8</td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td></td></tr></tbody></table>	年度	通行量	R2	3,520	R3	2,495	R4	2,600	R5	2,748	R6	2,069	R7		R8		R9	
年度	通行量																			
R2	3,520																			
R3	2,495																			
R4	2,600																			
R5	2,748																			
R6	2,069																			
R7																				
R8																				
R9																				
中心市街地の歩行者・自転車の通行量																				
基準値	目標値 (R9)																			
3, 520人 (R2年度)	3, 500人																			

推移の分析・考えられる要因	評価
新型コロナウイルスの影響により外出する頻度が低下したため通行量が大幅に減少したが、マルヒコプロジェクトなど新しい動きにより若干持ち直したものの、人口減少、少子高齢化等が要因と考えられる。	不調 (>_<)

指 標		<table><thead><tr><th>年次</th><th>人口</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td>10,954</td></tr><tr><td>R3</td><td>10,716</td></tr><tr><td>R4</td><td>10,716</td></tr><tr><td>R5</td><td>10,562</td></tr><tr><td>R6</td><td>10,292</td></tr><tr><td>R9 (目標)</td><td>10,000</td></tr></tbody></table>	年次	人口	R2	10,954	R3	10,716	R4	10,716	R5	10,562	R6	10,292	R9 (目標)	10,000
年次	人口															
R2	10,954															
R3	10,716															
R4	10,716															
R5	10,562															
R6	10,292															
R9 (目標)	10,000															
中心市街地区域内の居住人口																
基準値	目標値 (R9)															
10,716人 (R2年度)	10,000人															

推移の分析・考えられる要因	評価
全市的な人口減少により中心市街地区域内の居住人口も減少傾向にある。	不調 (>_<)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)

(基本目標4 安心して暮らしやすいまち)

政策(6)	住民サービスに資する効率的な行財政基盤
-------	---------------------

【基本計画の目標指標】

指 標	
市職員は日頃仕事をよくやっていると思う市民の割合(市民意識調査)	
基準値	目標値(R9)
54.2%(R3年度)	65.0%

年度	割合(%)
R2	50.8
R3	54.2
R4	52.0
R5	57.2
R6	52.8
R9(目標)	65.0

推移の分析・考えられる要因	評価
年度によりばらつきはあるものの、基準値からほぼ横ばいで推移している。前年度の調査から4.4ポイント下がっているが、「どちらともいえない」という回答が3.1ポイント増えており、職員の働きぶりが市民から見えにくい状況があると考えられる。	横ばい(--)

指 標	
市の財政状況などについて情報提供が行われていると思う市民の割合(市民意識調査)	
基準値	目標値(R9)
44.2%(R3年度)	50.0%

年度	割合(%)
R2	40.0
R3	44.2
R4	39.4
R5	43.1
R6	34.3
R9(目標)	50.0

推移の分析・考えられる要因	評価
「わからない」と回答した市民が多くなっていることから、より多くの市民に関心を持ってもらえるよう、地元新聞社への情報提供を続けるとともに、予算や決算、各種財政指標等について、広報のしろや市ホームページへ見やすく分かりやすい内容掲載に努めていきたい。	不調(>_<)

指 標	
マイナンバーカードを使ったオンライン(電子)申請が可能な手続数	
基準値	目標値(R9)
-	100業務

年度	手続数
R4	34.0
R5	49.0
R9(目標)	100

推移の分析・考えられる要因	評価
令和5年の手続き数増加は順調で、令和9年の目標達成に向けた受け入れ態勢が進んでいます。	順調(^-^)

【政策の評価】

市民協働会議 評価	(評価の理由と今後の方向、取り組み)